

やまゆり

経営方針

- 1 利用者の人権の尊重を基本とし、利用者が安心・安全で健康に生活できるよう利用者個々に応じた質の高いサービスの提供に努めます。
- 2 関係機関や他事業所と連携・協働し、地域の障がい者等のニーズの把握に努め、多様な福祉サービスの機会が得られるよう、地域福祉の向上に努めます。
- 3 職員個々が強い責任感を持ち、福祉サービスに関する専門性の向上を図るため、目標管理制度、教育研修制度等に基づき人材育成に努めます。
- 4 法令や諸規則を遵守し、信頼される組織体制を構築するとともに、財務状況の把握や職員の経営意識の醸成により、経営基盤の安定を図ります。

■ やまゆり

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）、日中一時支援事業]

取り巻く環境

やまゆりでは、高齢化により利用者の身体機能が低下し、日常生活に係る身体介護や健康管理・通院付添い等、多様な支援が必要です。

利用者の状態の変化を見逃さないよう、職員間の情報共有による気づきを高めるとともに、支援スキル向上や看護師等の多職種との連携を図り、施設サービスの充実が求められます。

新型コロナウイルス感染症を含めた感染症については、感染対策に努めながら、外出、地域行事への参加やボランティアの受け入れ等、地域との交流を進めます。

施設設備の老朽化に伴い、計画的な修繕が必要であり、高齢化に対応した介護機器等の導入も検討しながら、安心・安全なサービスを提供していく必要があります。

さらに、地域に開かれた施設とするため、地域ニーズに即したサービス提供が求められており、中山の園グループの連携・協働による地域福祉の推進が必要です。

令和6年度【事業の重点項目】

1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

人権尊重や虐待防止について、毎月の人権侵害自己チェックや毎週の利用者支援の振り返りを通して、職員意識の徹底を図ります。身体拘束の適正化等に向けて、利用者の人権を尊重したサービス提供に一層取り組む必要があることから、第三者委員を交えた虐待防止委員会を通して利用者支援の不適切事案等を検証し、再発防止に努めると共に、身体拘束の実施状況の把握や拘束解除に向けた検討を行います。

2 安心・安全なサービスの提供

身体介護や健康状態の把握の必要性が高い利用者や、精神疾患を有する利用者等に対し、個別の状況に応じた対応ができるよう、各種研修会へ参加し支援スキルの向上を図ります。また、介護福祉機器について情報収集を行い、導入に向けて検討します。

転倒・転落アセスメント等により、利用者個々のリスクを把握して要因分析し、必要な対策

を講じて支援の統一を図り、安心・安全なサービス提供に努めます。

新型コロナウイルス等の感染症については、健康観察を行い医療との連携を図り、予防及びまん延防止に努めます。

3 地域社会との連携・協働

地元の中学生を対象としたボランティア育成講座を継続し、障がい者理解や福祉教育の推進を図ります。地域における公益的な取組として実施している入浴体験事業について、関係機関等に改めて周知を図り、感染症等の発生状況を確認しながら、在宅障がい者のニーズに応じた入浴サービスの提供を行います。

職員の支援レベルを高め、相談支援事業所と連携して、積極的な受入れを行いセーフティネットの役割を果たします。

4 働きがいのある職場づくり

職員間の相互理解を深めるため「報・連・相」の徹底や日常的なコミュニケーションの円滑化を図り、働きがいのある職場づくりを目指します。

また、業務の見直しやシステム化の推進、介護機器の導入による支援の負担や不安の軽減、業務の効率化等に取り組み、時間外労働の縮減や年5日以上の有給休暇の取得を進めます。

5 経営の安定・強化

継続して安定した経営を図るため、中山の園グループ及び関係市町村や相談支援事業所等と連携して施設利用の定員充足を目指すとともに、短期入所利用等を積極的に受け入れます。

また、法令、報酬の仕組みや個別支援計画等について、研修の機会を確保すると共に、施設の収支状況を把握してコスト削減や見直しを行い、適切な予算執行や経費の節減に取り組む等、経営意識の醸成に努めます。